

主題の喜多嶋論文で記載されているように、大腸研究会の sm 癌取り扱いプロジェクト研究において、非有茎型の場合リンパ管浸潤の有無にかかわらず深達度が垂直浸潤距離 1,000 μm 以下の sm 癌ではリンパ節転移を認めないという結果が得られた。多施設から収集した材料をもとにプロジェクト研究が行われこのような結果が得られことに大変意義があり、sm 癌の取り扱いに有用な指標が示された。ただし、この 1,000 μm という距離が切除前に診断可能かということが最も大きな疑問であった。いくら有用な基準値であっても切除前に診断できないとなると、深達度診断は切除可能かどうかさえ判断できればあとは内視鏡切除後の病理検索に基づき治療方針を決めればよいということになりかねない。

今回のそれぞれの解析で少なくとも 70% 以上、施設あるいは診断方法によっては約 90% の症例で深達度 1,000 μm 以上の診断が可能であるという結果が得られ、病理学的解析により得られた“sm 深達度：垂直浸潤 1,000 μm ”が臨床的にも意義のある値であることが判明し、日本の消化管診断学のすばらしさを改めて感じる次第である。そして、病変の形態の違いや検査法の違いにより正診率が異なることや主題症例で示された問題点を熟知することにより深達度診断精度がさらに向上していくものと思われる。今後、“sm 深達度：垂直浸潤 1,000 μm ”をキーワードとして、早期大腸癌の診療・研究の新たな展開を期待したい。

胃と腸

10月号（第39巻・第11号）予告

発売予定 10月25日
定価 2,520円

主題／胃生検診断の意義—Group 分類を考える

序 説	胃生検診断の意義—Group 分類を考える	新潟大学名誉教授	渡 辺 英 伸
主 題	Group 分類の歴史と問題点 (Vienna 分類との関係も含めて)	癌研究会癌研究所病理部	加 藤 洋
	胃生検組織診断分類 (Group 分類) の問題点		
	—アンケート調査による検証—	岩手医科大学臨床病理	中村 眞一・他
	Group 分類の問題点—臨床医からみた問題点：		
	アンケート報告	社会保険中央総合病院消化器科	浜田 勉・他
	Group 分類困難例の実際—Group 分類困難例 (Group II, III, IV) の		
	生検組織診断と切除標本組織診断の対比		
	まとめ	九州大学大学院医学研究院形態機能病理	八尾 隆史・他
	検鏡後のコメント	新潟大学大学院医歯学総合研究科分子・病態病理学	味 岡 洋 一
	検鏡後のコメント	大阪府立成人病センター病理検査科	石 黒 信 吾
	検鏡後のコメント	獨協医科大学病理学講座	大 倉 康 男
	検鏡後のコメント	東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科分子病態検査学	滝 澤 登一郎
座談会	Group 分類—私はこう考える	国立がんセンター中央病院臨床検査部	下田 忠和・他

胃と腸（第39巻 第10号）

編 集 早期胃癌研究会
発 行 株式会社 医学書院
代 表 者 金原 優
〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3
☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714
FAX (03) 3815-7802 / 3815-7982
E-mail : itocho @ igaku-shoin.co.jp
http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/itocho/

2004年9月25日発行 (毎月25日発行)
1部定価 2,520円 (本体 2,400円 + 税 5%)
2004年年ぎめ予約講読料 35,010円
(増刊号 5,775円を含む 13冊) (送料弊社負担)
☎ 販売部直通 (03) 3817-5659
振替口座 00170-9-96693
印 刷 所 永和印刷 (株) ☎ (03) 3813-5001
広告取扱 文 栄 社 ☎ (03) 3814-8541

- ・早期胃癌研究会は、当研究会、早期胃癌検診協会およびエーザイ株式会社の三者の共催で行われている。
- ・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2004, Printed in Japan.
- ・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は株医学書院が保有します。
- ・JICLS < (株) 日本著作出版権管理システム委託出版物 >
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に株日本著作出版権管理システム (電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199) の許諾を得てください。
- ・医学書院ホームページ (インターネット) <http://www.igaku-shoin.co.jp> (担当) 今田・飯村・山中・小松原